

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第20号 放課後子供教室 について

2020年12月21日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、放課後等における全ての子供たちを対象とした安全・安心で多様な体験・活動を行うため、市町村と連携しながら、小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得ながら学習やスポーツ、交流活動などを行う「放課後子供教室」の取組を推進しています。

県内では、こんな取組をしています！

- ・工作教室 ・読み聞かせ ・マジック教室 ・縁日 ・ゲーム大会 ・書道教室
- ・ミニ運動会 ・英語教室 ・科学遊び ・短歌 ・ソフトテニス ・パターゴルフ
- ・囲碁 ・将棋 ・映写会 ・お菓子作り ・ヨガ ・スポーツ教室 ・生け花
- ・焼き芋 ・季節の行事 ・お泊り会 ・流しそうめん ・基礎学習 ・よさこい鳴子
- ・篠笛 ・ドローン ・手話 ・ネイチャーゲーム ・パソコン ・カード遊び
- ・絵手紙 ・シーカヤック ・絵画 ・落語教室 等

「R1実績報告書より」一部抜粋

令和2年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会

12月17日（木）に千葉県教育会館において令和2年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会を開催しました。主な内容として、江戸川大学名誉教授の福井嗣泰先生から「放課後活動スタッフが必要とする知識とコミュニケーション支援力」という演題での御講演と今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子供教室を開いている自治体が少ない中、**Withコロナ・Afterコロナ**の取組として八街市教育委員会の事例を発表していただきました。



検温についての指導の様子
（初日）



教卓前の足形マーク



入退出時の手指の消毒

「指導スタッフ研修会資料より」

【参加者の声】

- ・虐待、発達障害など、様々な背景の子供達に向き合うのにタイムリーであり、貴重な時間となりました。「How to」に陥りがちな私達に姿勢や実践力へ訴えかけていたことがよく伝わりました。
- ・とても参考になりました。常識と思っていることでも、改めて考え直してみる必要があると痛感しました。 <講演について>
- ・学習支援を中心とした取組が参考になりました。予算的な面でも指導員の増員が難しい点など、どの教室でも運営に苦慮されていることがわかりました。
- ・他市の一体的な運営の形態を学び、本市でも取り入れられる内容があったので、取り組んでみたいと感じました。 <実践発表について>

地域学校協働活動推進員研修講座の発表事例の紹介



10月27日～12月2日まで各教育事務所管内で地域学校協働活動に関する研修講座が全7回開かれました。そのうちの放課後子供教室に関する3講座の様子を御紹介します。

君津教育会館において、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、映像視聴という形式で実施しました。鋸南町の放課後子供教室は平成29年9月から開始され、3年が経過しました。定期活動だけではなくイベント的な活動も行われ、取り組み内容の充実を図っています。

【参加者の声】

- ・地域をあげて子供たちの健全育成に寄与し、成長を見守っていく姿勢が感じられ、とてもうれしく思いました。



【鋸南町放課後子供教室】11月12日実施



【あびっ子クラブ】11月25日実施

我孫子市立高野山小学校において、活動の参観が行われました。我孫子市では、放課後対策事業として学童保育と放課後子供教室が一体的に運営されています。平成19年の我孫子第一小学校の開設を皮切りに計画的に開設し、平成30年の布佐小あびっ子クラブをもって全小学校に設置が完了しました。

【参加者の声】

- ・我孫子市ならではの活動を見せていただき勉強になりました。

全日警ホール（市川市八幡市民会館）において、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、映像視聴という形式で実施しました。市川市の放課後子供教室は委託による運営が6校、市の直営が9校あります。各教室において、活動プログラムが工夫されており、研修会当日は工作教室で作成された実物を展示していただきました。

【参加者の声】

- ・市川市の雰囲気や内容に新鮮さを感じました。工作も「ぜひ、子どもたちに教えよう！」と思いました。



【市川市放課後子供教室】11月30日実施



「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は

（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）

<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来

で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第19号 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の連携 について

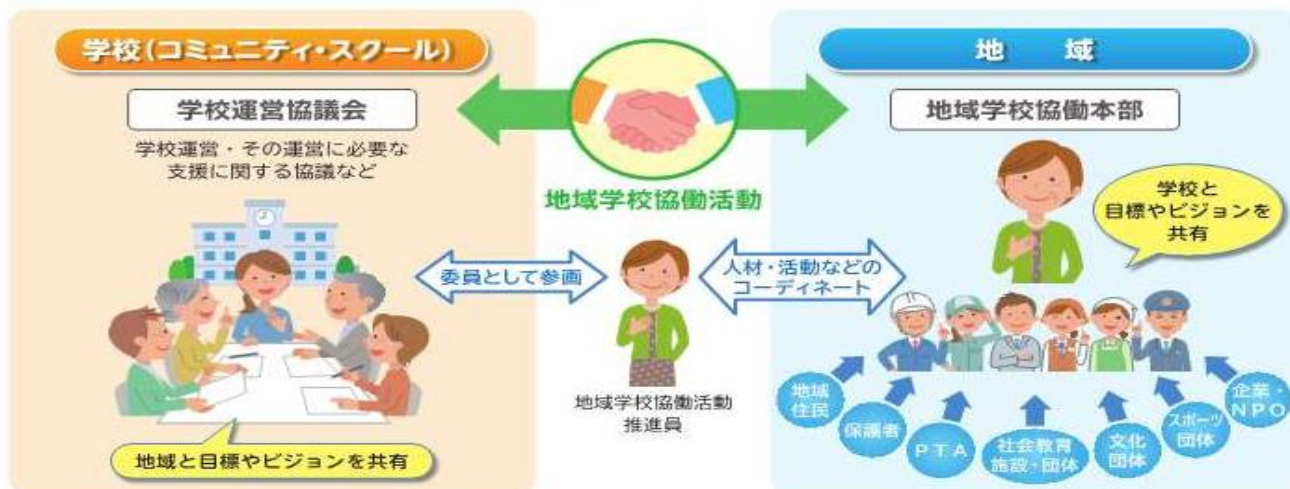
2020年10月1日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」

千葉県教育委員会では、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる「コミュニティ・スクール」と地域と学校が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進しています。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには…

まず、関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、**学校運営協議会**がその役割を果たします。その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や**地域学校協働活動**の充実や活性化につながります。

学校運営協議会と**地域学校協働活動**を一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が進んでいくことが期待されます。

学校と地域、双方から見たPDCA（計画→実行→評価→改善）

効果的かつ持続的な学校運営と地域学校協働活動の仕組みを構築するためには、**学校運営協議会**と**地域学校協働活動**のそれぞれのPDCAを回しつつ、お互いが連携・協働することが重要です。



文部科学省パンフレット「これからの学校と地域」より



地域のコミュニティ・スクール導入に向けた取組の紹介

今回は中核市の**柏市教育委員会**の取組をQ&A方式で紹介します。

- Q1 現在のコミュニティ・スクールの状況を教えてください。
- A1 令和元年度よりモデル校として4校2中学校区で導入を開始し、令和2年度末までに21校で11の学校運営協議会が導入されます。柏市では令和5年度までに市内小中学校63校全校で導入を予定しており、単独校での導入や中学校区での導入等、地域と学校の実態に合わせて柔軟に対応しています。
- Q2 コミュニティ・スクールの導入に向けて、どのような取組を行っていますか。
- A2 まず、先進市への視察を行いました。また、平成30年度には、学校運営協議会設置に向けて「柏市学校運営協議会設置運営規則」を制定しました。令和元年度には「柏市コミュニティ・スクールガイドライン」の策定を行い、導入を進めています。市内各小中学校への説明をはじめ、学校評議員会、地域団体、社会教育委員会など関係各所への説明を現在も行っています。今後は、さらに市長部局との連携の可能性を模索しながら、設置された学校運営協議会の運営及び新規設置に向けたサポートを行っていきます。
- Q3 取組の中で課題となっていることはありますか。また、どのように解決しましたか。
- A3 学校現場においては、コミュニティ・スクール導入による学校の変化、成果がすぐには見えないため、導入するメリットを感じづらいという声もあります。このため、個々の学校の特色を大切にしながら、徐々に進めてくように各学校へ助言しています。地域人材については、概ね同じ方が学校や地域と関わっていることが多いため、負担が増えることを懸念しています。この活動の周知と理解者を得るため、広報活動の強化も必要と考えます。一方、学校内でも、教職員の負担が増えるのではないかと懸念があります。要請があれば、市教育委員会の担当者がすぐに学校に出向いてコーディネートを行い、教職員と地域をつなぐ取り組みを行っています。



「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp> **学び未来** で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第18号 地域未来塾・地域学校協働本部版

2020年3月12日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進しています。今回は「地域未来塾」と『地域学校協働活動推進』に係る文部科学大臣表彰」を特集していきます。

「地域未来塾」～地域のかで学力UP!～

地域未来塾とは？

教員OBや大学生など地域住民等の協力により、中学生等に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的とした原則無料の学習支援です。



実施している市町村は？

千葉県では平成27年度から、国・県の補助事業「地域学校協働活動推進事業」の一つとして「地域未来塾」が始まりました。年々、実施市町が増えていきます。

令和元年度は、8市町31カ所で地域未来塾が実施されています。※政令市・中核市を除く

- ・浦安市（12） ・松戸市（1） ・野田市（11） ・流山市（1）
- ・酒々井町（1） ・栄町（1） ・茂原市（3） ・富津市（1）



「栄町」の取組紹介！

栄町では、中学生を対象に数学・英語の学力向上と数検・英検のチャレンジをめざした 学ぶ土曜日！栄フューチャースクール「サタデーわくドラ」を平成30年度から実施しています。

- ・対象：中学1～3年生の希望者
- ・実施日：月2回・土曜日（2時間、学年別）
- ・実施場所：栄中学校
- ・学習内容：数検・英検のテキストを利用した一斉・個別学習
- ・講師：元教員、地域学習支援ボランティア、大学生・高校生学習ボランティア、教育委員会職員



参加者の声

- ・英単語を覚えたり、方程式を解けるようになったりしてよかった。
- ・次回も英検にチャレンジし、もっと上の級に合格したい。
- ・気楽に参加できてよかった。苦手な数学が分かるようになった。



「地域未来塾」についてもっと知りたい方は
（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 で検索

「地域学校協働活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰について

この表彰は、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）のうち、その内容が他の模範と認められる取組に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。
令和元年度に受賞された2つの活動を御紹介いたします。

塩浜学園はまっこらぶ・はまっこサポート（市川市）



ふるさとを愛し、自ら夢を持ち、
心豊かでたくましく生きる 塩浜っ子

平成25年度、前身の塩浜小学校に「学校支援コーディネーター」が配置され、学校支援を中心に活動がスタートしました。平成28年度からは県内初の義務教育学校となる「塩浜学園」の開校と同時に、学校運営協議会が設置され、地域と学校との連携協働体制が一層強化されました。

塩浜学園の独自教科である「塩浜ふるさと防災科」では、地域住民や地元企業の協力を得ながら、ふるさとの歴史や防災に関する理解を深め、地域に根差した人材育成に取り組んでいます。

また、塩浜学園を会場に地域住民を対象とした公開講座「はまっこ・夢・大学」を年4回開催しています。講座終了後には、「はまっこサポート」の活動について説明し、新たなボランティア人材の開拓につなげています。

「塩浜ふるさと防災科」でハロウィンパーティーの審査をする地域住民



聖徳大学の先生を講師に招いての公開講座「はまっこ・夢・大学」

睦沢町地域学校協働本部（睦沢町）



～ともに学ぼう～
地域と学校が一体となり、
子供たちの健やかな成長と地域の教育力の向上を

睦沢町地域学校協働本部は子供たちの健やかな成長と地域の教育力の向上を図ることを目的に、平成26年度から活動を開始し、平成30年4月1日に睦沢小学校学校運営協議会が設置されました。「ともに学ぼう」の合言葉のもと、「まなび隊」「行事隊」「安全隊」「環境隊」の4つの専門部会に分かれ、授業補助、稲作指導、サケの飼育・放流、スクールバスの乗車確認、竹林伐採、図書整理など多様な活動が行われています。

児童にとって地域の方との交流は、町の産業や自然の新たな発見につながっています。また地域の方にとっては、児童と一緒に活動することで生きがいややりがいを感じられる場となっています。

地元農家の協力による稲作の体験事業



防災士による火起こし体験、防災関連の体験

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより



第17号 放課後子供教室版

2020年2月21日

発行：千葉県 地域学校協働活動推進委員会



放課後子供教室は、地域住民や各種団体等の協力を得て、学習やスポーツ・文化活動、交流活動など様々な活動を実施しています。

当委員会が指導スタッフ等を対象に開催している研修講座のアンケートには、「子供たちが関心を持つ活動プログラムを充実させたい。」「プログラム作りについて知りたい。」という声が多く寄せられています。

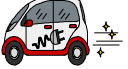
このような声を受けて、過去に発行したボランティアだよりにおいても、「プログラム作り」について紹介しておりますが、今号では、千葉県が各企業や団体等の協力を得て実施している教育プログラムの一例を紹介します。

これ以外にも、金融庁では財政・金融等についての講演会の開催を弁護士会では法教育プログラムを設定するなどの取組を行っています。学校では学ぶことや体験することができない専門家の活動や考え方を知ることは、子供たちにとっても意義のあることではないかと思います。

当委員会では、地域住民の皆さんの放課後子供教室への参画に加えて、国等の行政機関や各企業の参画、市町村をまたいだ放課後子供教室の実施を推進しています。

活動プログラム作りに悩んだ際のヒントとして活用してください。

千葉県が各企業や団体等の協力を得て実施している教育プログラムの一例

内容	目的	活動プログラムの例	問い合わせ先
環境教育	県民、学校、地域等における環境学習及び環境保全活動の支援 	1 地球温暖化 (気候変動・再生可能エネルギー等) 2 自然・生物 (自然環境の保全・生物多様性等) 3 循環型社会 (廃棄物の削減・食品ロス等) 4 大気・水環境 (大気汚染防止・河川等の水質等)	千葉県環境生活部 循環型社会推進課 環境保全活動推進班 043-223-4144 ちば環境学習応援団
食育教育	「ちばの恵み」を取り入れたバランスのよい食生活の実践	1 食生活の改善 (バランスの取れた食生活の相談・指導等) 2 食品流通・加工 (食品流通・工場見学等) 3 その他「食」や「農」に関するもの (農水産業体験・料理等)	千葉県農林水産部 安全農業推進課 食育推進班 043-223-3092 ちば食育ボランティア
交通安全教育	交通ルールや交通マナーの向上を図る 	1 交通安全に対する必要な知識、交通ルールや交通マナーに関する講話 2 自転車や安全運転に関する講習 経験豊富な講師(交通安全教育推進員)を派遣いたします。(講師料は無料ですが、講師の交通費等の実費分は負担願います。)	千葉県環境生活部 くらし安全推進課 交通安全対策室 043-223-2263 交通安全教育推進員



放課後子供教室 活動の様子



今回は、外国人の活用、地域の講座との連携、学習塾への委託により、それぞれの地域の事情に則した特色あるプログラムを実施している、放課後子供教室の活動の様子を紹介します。

外国人講師による英会話体験プログラム（富里市）

富里市の放課後子ども教室では、7つの教室中 4 つの教室で「とみさとザ・ワールド・キッズ」を実施しています。

簡単な英会話や英語を用いたゲーム等の活動を通し、英語への興味を深めるとともに、様々な人と触れ合う喜びを体験しながら日本の伝統や富里の歴史、特色を外国人に紹介する英会話活動を行っています。

また、市で開催される「英語スピーチコンテスト・パフォーマンス発表会」に出場し、「貴重な体験ができた」など参加児童や保護者からも高い満足度を得ています。

★とみさとザ・ワールド・キッズ



■英語ゲームに挑戦！

※「とみさとザ・ワールド・キッズ」では事業の実施を、富里市外国語推進事業実施協議会に委嘱しています。

★放課後子ども教室

学校・地域と連携し、充実した活動プログラム（袖ケ浦市）



■なぎなたに挑戦！

袖ケ浦市では、市内3か所で小学1～6年生までを対象に放課後子ども教室を実施しています。

開設7年目を迎えた、長浦小学校「あそボラ！！やかたっ子広場」では、遊びの中で、ソフトサッカー、友遊ボール、なぎなたなどの体験活動を行っています。

また、「やかたっ子広場」と並行して、地域の方を対象に、「ちょいボラ講座」という健康講座（ヨガ・ハーモニー体操）を実施しています。ちょいボラ講座参加者には、「やかたっ子広場」の子どもたちを見守りながら一緒に歩いて帰ってもらっています。

※「ちょいボラ」とは、身近なことでできる「ちょっとしたボランティア」のことです。

地理的不利を解消する！学校で塾の講座を！（南房総市）

「塾に行きたい」でも「遠くて通えない」こんな状況が南房総市にはあります。そこで、夏休み中に5日間、2学期に12日間の学習講座を市内全小中学校で開催しています。小学校5・6年、中学校1～3年が対象。希望制ですが、7割強の子どもたちが参加しています。費用はテキスト代のみ。近隣の塾にお願いしながら、できるだけ少人数で学べるような環境整備に努めています。学習習慣の維持、基礎・基本の定着、苦手克服等に生きています。

★放課後・夏季学習講座



■塾の先生と少人数でじっくり勉強！

※「学校から家に帰ったらすぐ勉強」という生活リズムがない子供が多いため、放課後学習教室で普段の勉強方法についても相談に応じています。

＜問合せ先＞千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室

TEL：043-223-4069 メール：kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第16号 コミュニティ・スクール について

2019年10月30日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



「コミュニティ・スクール」～社会総がかいで子供たちを育む～

千葉県教育委員会では、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことできる「コミュニティ・スクール」（＝学校運営協議会を設置した学校）の導入を推進しています。



学校運営協議会の主な役割として、

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
 - 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
 - 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる
- の3つがあります。

コミュニティ・スクールを導入すると…

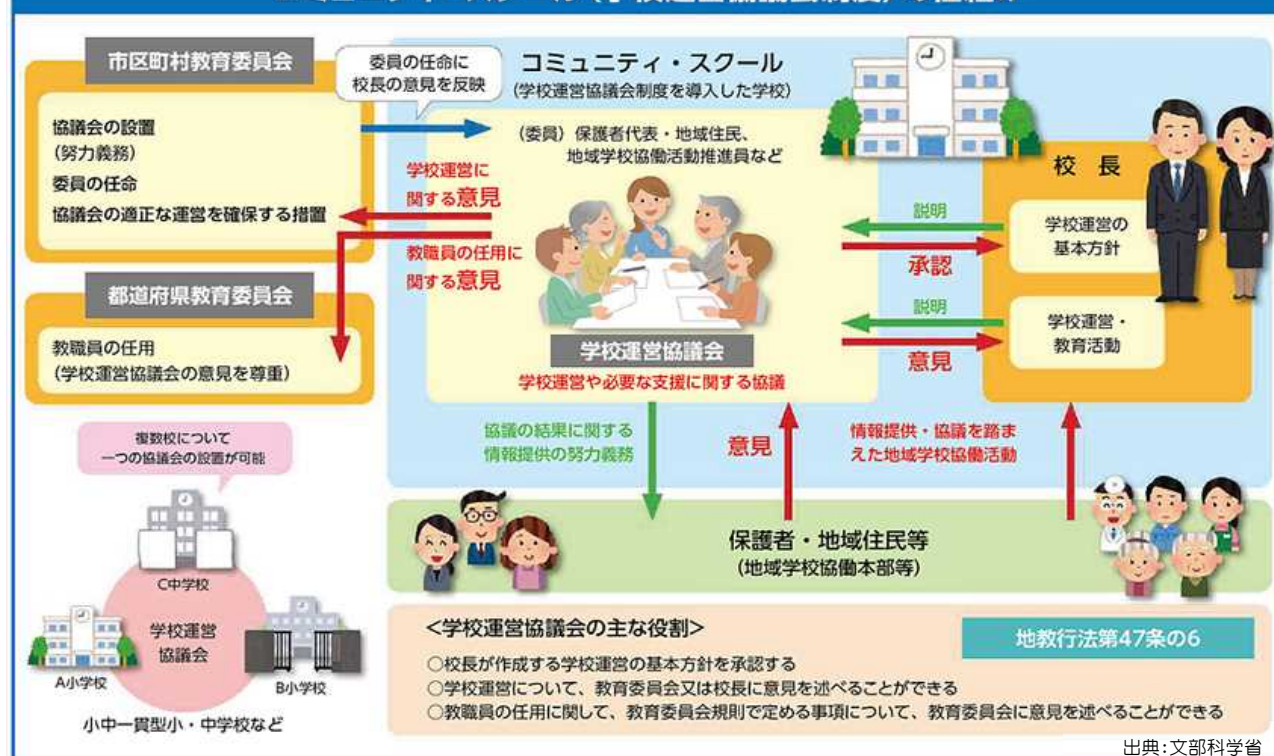
- ・学校が保護者や地域住民等と一緒に課題への対応策を考え、実行に移すことができます。
- ・多くの大人の専門性や地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現します。
- ・学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域住民等が学校の応援団になります。
- ・学校・家庭・地域の適切な役割分担により、教職員が子供と向き合う時間の確保につながります。

導入している市町村は？

令和元年10月1日現在、千葉県において、コミュニティ・スクールを導入しているのは、県立学校6校、市町村立学校は7市町72校（幼稚園含む）です。※政令市を除く
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成29年4月から学校運営協議会の設置が**努力義務**となりました。



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



「コミュニティ・スクール」についてもっと知りたい方は

（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来 で検索

地域の特色・魅力ある取組の紹介

話し合いの場「学校運営協議会」 × 活動の場「地域学校協働本部」

両体制が連携を取り、両輪となって学校と地域を支える活動が展開されている、長南町の取り組みを紹介します。

※長南町では地域学校協働本部を「学校支援本部」の名称で呼んでいます。



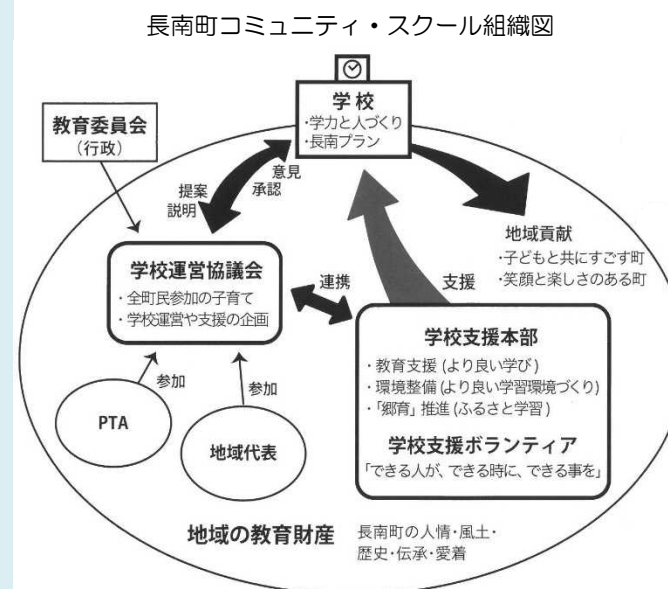
～子どもの未来を地域とともに育てる～

長南小学校 学校運営協議会 & 学校支援本部

長南町は、平成29年度から4つの小学校が長南小学校1校に統合されました。2年間の準備期間を経て、令和元年度から長南小学校に学校運営協議会が設置され「コミュニティ・スクール」となりました。また、学校支援本部も体制化され、学校運営協議会との連携が図られ、一体的な取組を行っています。

学校運営協議会では、学校の目標やビジョンを地域の方と共有しながら、学校職員と地域住民とで学校に必要な学習支援や環境整備について話し合いが行われます。

そこでの話し合いをもとに学校支援本部では、地域コーディネーターが中心となり、地域の力を借りて様々な教育支援活動を行っています。



＜主な活動＞

- ・朝の読み聞かせ
- ・通学バスの乗降見守り
- ・マラソン大会補助
- ・太巻寿司づくり（水稻学習）
- ・イングリッシュキャンプ
- ・東京家政大学との交流事業 など



学校からは「子供たちの学びや体験活動が充実した」「地域の伝統や文化の継承に対する興味が高まった」との感想が上っています。

地域支援ボランティアの方は、「できる人が、できる時に、できる事を」というスタンスで参加し、子供とともに過ごす楽しさに加え、参加同士の交流が持てることでやりがいにつながっています。



「イングリッシュキャンプ」



「ハスづくり」



「朝の読み聞かせ」



「通学バスの乗降見守り」

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第15号 地域未来塾・地域学校協働本部版

2019年2月26日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進しています。今回は「地域未来塾」と『地域学校協働活動推進』に係る文部科学大臣表彰」を特集していきます。

「地域未来塾」～地域のかで学力UP!～

地域未来塾とは？

教員OBや大学生など地域住民等の協力により、中学生等に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的とした原則無料の学習支援です。

実施している市町村は？



千葉県では平成27年度から、国・県の補助事業「地域学校協働活動推進事業」の一つとして「地域未来塾」が始まりました。年々、実施市町が増えていきます。

平成30年度は、7市町26カ所で地域未来塾が実施されています。

- ・浦安市（9） ・松戸市（1） ・野田市（11） ・流山市（1）
- ・酒々井町（1） ・栄町（1） ・茂原市（2） ※政令市・中核市を除く



「茂原市」の取組紹介！

茂原市では、学習習慣の確立と学力の向上を目的に、平成30年度から南中学校、東中学校の2つの中学校において、自主的な学習をサポートする地域未来塾を実施しています。

- ・対象：中学3年生で勉強に本気で取り組める者（希望者）
- ・実施日：平日と土曜日の週2回（各1時間半）
- ・実施場所：公民館、福祉センター
- ・学習内容：数学のプリント学習（個別学習）
- ・講師：教員OB等の地域住民



参加者の声

- ・勉強をする習慣が身についたことがよかった。
- ・家で勉強するよりも、集中して取り組むことができ、わからないことを気軽に質問できる場になっていることがよかった。



「地域未来塾」についてもっと知りたい方は
（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来 で検索

「地域学校協働活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰について

この表彰は、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）のうち、その内容が他の模範と認められる取組に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。

平成30年度に受賞された2つの活動を御紹介いたします。



秋津小学校パートナー会議（習志野市）

学校と地域をつなぐ「パートナー会議」 － 子どもと大人が楽しく学ぶ場に －

秋津小学校パートナー会議は平成14年度から活動をスタートした、県下でも有数の実績のある団体です。80名を超える豊富な地域ボランティアの協力により、「学習支援」「安全支援」「環境支援」「情報支援」の4部会の支援ボランティアが組織され、授業補助、登下校の見守り、ビオトープ整備、パソコンクラブの支援など多様な活動が行われています。

地域主催の「秋津まつり」では、子供たちが地域の方から習った伝統踊りを披露し、祭りの盛り上がりにも貢献しました。

学校からは「子供たちの学びや体験活動が充実した」「地域の伝統や文化の継承に対する興味が深まった」との感想が上っています。

5年生の活動
「米作り」
ビオトープに隣接した田にて



「秋津小学校と地域の大運動会」
地域の方による
5・6年生のソーラン節生演奏

第六中学校ブロック地域学校協働本部（市川市）

学校・家庭・地域の連携を目指して、 子供たちを地域ぐるみで育む！！

第六中学校ブロック地域学校協働本部は中学校区の地域活性化や学校間のネットワーク化を図るべく、第六中学校、鬼高小学校、稲荷木小学校の3校合同の本部として組織されました。

地域行事や学校行事等が掲載された「コミュニケーションカレンダー」を作成したり、地域のお祭りに出店したりして本部の認知度アップに向けた活動にも力を注ぎ、ボランティア人材の確保に効果を上げています。

「道徳支援実践講座」は地域全体で「いじめ」の未然防止をめざす市川市独自の取組です。中学校の道徳の時間に地域の方が支援者として子供たちと一緒にいじめ問題を考え、意見を交換し合う貴重な時間となっています。

「道徳支援実践講座」で生徒と談笑する統括的な地域学校協働活動推進員



地域の祭りに出店して地域学校協働本部をアピール

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4167

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第14号 放課後子供教室版

2018年12月12日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



「新・放課後子ども総合プラン」が策定されました



平成30年9月、文部科学省と厚生労働省は「新・放課後子ども総合プラン」を策定しました。「放課後子ども総合プラン」を引き継ぐもので、共働き家庭のさらなる増加により放課後児童クラブの追加的整備が不可欠になっていることや、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体型実施が目標（1万箇所）に到達していないことなどを背景として定められました。

目標（2019～2023年度の5年間）

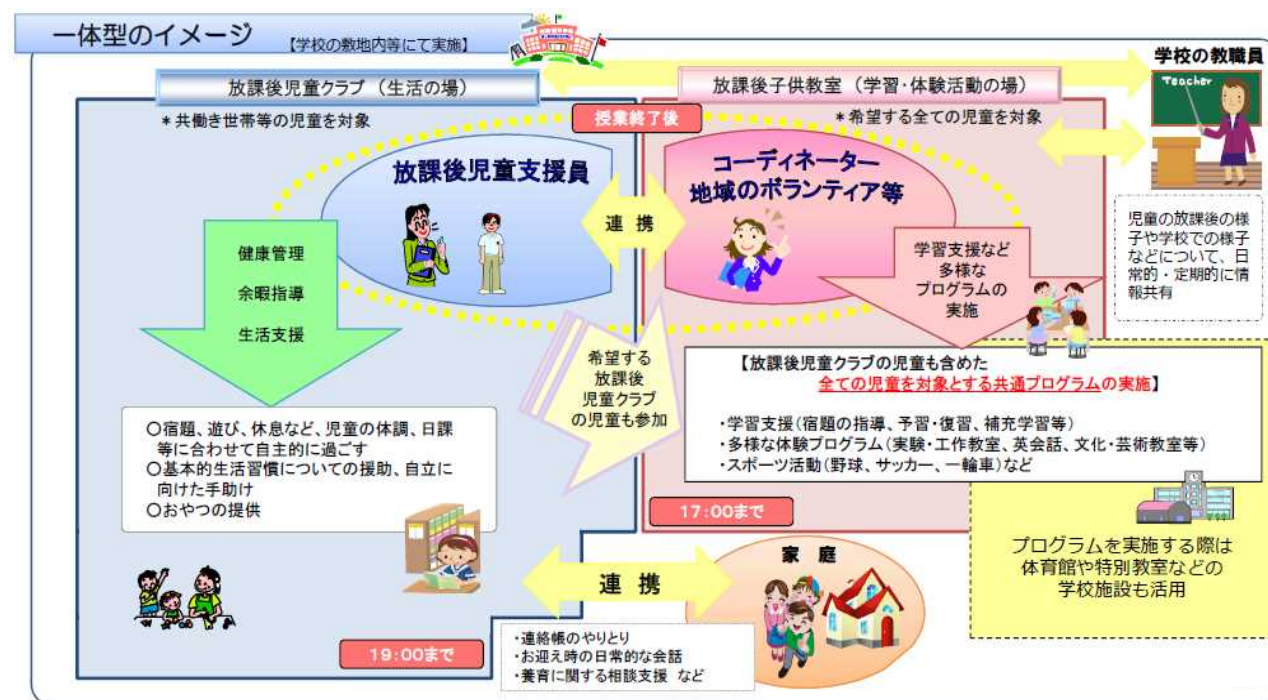
放課後児童クラブについて、2021年度末までに約25万人分を整備。その後も女性就業率の上昇を踏まえ、2023年度末までに約30万人分を整備。

全ての小学校区で、両事業を一体的に又は連携して実施し、うち小学校内で一体型として1万箇所以上*で実施。*全国の

全ての小学校区（約2万箇所）に一体型または連携型の放課後子供教室を設置し、うち半数以上を一体型とすること。

両事業を新たに整備等する場合には、**学校施設を徹底的に活用**することとし、新たに開設する放課後児童クラブの約80%を小学校内で実施する。

子どもの主体性を尊重し、子供の健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子供の自主性、社会性等のより一層の向上を図る。



（文部科学省 平成31年度「学校を核とした地域力強化プラン」の概算要求に係るブロック説明会 資料から）

御協力ください！

放課後子供教室を設置していない小学校区

設置（できるだけ一体型又は連携型）を！

一体型又は連携型でない放課後子供教室

一体型又は連携型の実施を！

ポイント 全ての児童が放課後子供教室のプログラムに参加できるように！

一体型又は連携型を実施している放課後子供教室

活動内容のさらなる充実を！

ポイント 企画段階から両事業のスタッフが連携する！

地域の特徴・魅力ある取組の紹介

各地区で放課後児童クラブと放課後子供教室を一体型又は連携型で運営している取組を紹介します。

八千代市 米本小学校放課後子ども教室



米本小学校放課後子ども教室は今年度開設した一体型の教室です。15時30分になると、放課後児童クラブ指導員が、入所児童のうち放課後子ども教室にも登録している児童を、同校内の放課後子ども教室（週3日程度開催）へ引率します。教室では、ボードゲーム等の自由活動や地域ボランティア団体と連携した昔遊び等の活動を通して異年齢交流を図っています。

利用者アンケートでは、一体型により児童の交流の幅が増えたとの声が寄せられています。



マジックショーの様子
みんなで楽しい交流！

我孫子市 放課後子供教室



我孫子市では、放課後子供教室と学童保育室を一体的に運営するため、「コーディネーター」と「放課後児童支援員」を「放課後対策事業スタッフ」として一括りで任用しています。また、両事業とも一つの部署が所管しており、スタッフは同じ会議に出席し、同じ研修を受講しているので、スタッフ間の連携は、より一層深まります。

写真は共通プログラムとして実施した「カプラで遊ぼう」の様子で、両事業の子供たちが一緒になって木のブロックで遊んでいます。



載せて重ねて、みんなで一緒に作ったよ！

八街市 放課後子供教室



八街市では、「八街市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、一体型の放課後子供教室の整備を進めています。平成31年度までに半数以上の小学校で開設を目指し、28～30年度に八街東小学校、交進小学校、実住小学校で教室を開設、31年度は2教室の増設を計画しています。

いずれの教室でも1・2年生を対象とし、各小学校と連携して基礎学力の向上を見据えた学習支援型の活動を行っています。



八街東小放課後子ども教室の様子

【問い合わせ先】千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL043-223-4167



「学校支援」から「連携・協働」へ



千葉県教育委員会では、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で**子供の成長を支え、地域を創生**する「地域学校協働活動」を推進しています。

地域学校協働本部の整備にあたり、これまでの学校支援地域本部等を基盤として、地域による学校の**「支援」から**、さらに、地域と学校との双方向の**「連携・協働」**の視点を持った活動へと幅を広げていくことが望まれています。

学校支援



(活動例)

《学習支援》

- ・読み聞かせ
- ・理科実験・家庭科実習の補助
- ・算数等のドリル学習
- ・部活動支援 等



《環境整備》

- ・図書館整備
- ・花壇の整備
- ・樹木の剪定
- ・登下校の見守り 等



連携・協働



これまでの「学校支援」活動を基盤として、地域と学校の「連携・協働」を進めていきましょう。例えば学校内の環境整備活動を、地域住民と子供たちが協働で実施する学校周辺の地域の清掃活動や環境美化活動に発展させていくことにより、目標を共有して地域の環境づくりに関わるなど、地域と学校が「連携・協働」した取組になっていきます。

地域と学校が「目標」を共有し、「協働」の意識を持って活動に取り組むことが重要です！！

活動例①「郷土学習」

- 地域・学校の目標・願い
 - ・地域の伝統芸能を後世に残したい。
 - ・踊りをととして地域を活性化したい。
 - ・子供たちに郷土愛を持ってもらいたい。
- 活動のポイント
 - ・地域に伝わる踊りを体育の時間や総合的な学習の時間を活用して地域の方から教わる。
 - ・地区のお祭りや運動会で地域に対して成果を披露する。
 - ・地域住民のやりがいや喜びにつながるよう、取組の様子を学校便り等で紹介する。



活動例②「職場体験」

- 共有の目標・願い
 - ・地元への理解や愛着を深めたい。
 - ・地域の子供は地域で育てたい。
- 活動のポイント
 - ・地域をよく知る地域学校協働推進員に地域のゲストティーチャー探しを手伝ってもらう。
 - ・地域の方の協力により地元企業・事業所等で職場体験を行う。
 - ・職場体験受入先の方に学んだことやお礼の手紙を書く。



学び未来

地域学校協働活動についてもっと知りたい方は

(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)

<http://manabi-mirai.mirai.mext.go.jp>

学び未来 で検索

地域の特徴・魅力ある活動の紹介



今回は、地域の特徴・魅力ある活動として、四街道市、山武市、鴨川市の地域学校協働活動の取組を紹介します。

～外国籍児童の日本語指導～

みそら小学校・学校支援地域本部（四街道市）

みそら小学校には、外国籍の子供が数名在籍しています。学級の友だちと一生懸命、学習や活動に取り組んでいますが、慣れない日本の環境や言語の違いに戸惑う様子も見受けられます。

そこで、四街道市国際交流協会のご紹介のもと、地域ボランティアの方に日本語指導をお手伝いしていただいています。外国籍の子供たちが日本語に親しみ、安心して学校で過ごせるよう、学校と地域のよりよい連携を進めていきたいと思っています。



地域ボランティアの方とプリントを使って学習

～地域ボランティア連携の宿泊体験～

睦岡小学校支援地域本部（山武市）



火を囲み楽しかった
キャンプファイヤー！

「睦岡小学校支援地域本部」では、学校の環境整備、登下校の見守り、野外活動などを行っています。

野外活動では、地域ボランティアと学校が目標を共有、連携して、小学校での宿泊体験を行いました。

地域ボランティアの指導のもと、班に分かれ保護者と一緒に夕食づくりをしたり、夜には校庭でキャンプファイヤー、学校を散策するナイトウォークなどを行ったりしました。

これらの活動を通じて、子供たちと地域、学校との関係がより深まりました。

～地域の良さを語れる子供の育成のために～

天津小湊学校支援地域本部（鴨川市）

「天津小湊学校支援地域本部」では、学習の目的に応じ、旅館や牧場、語り部等様々な地域の人たちの協力を得ています。

7月には、地元のサーフィングクラブの方30名で、6年生の子供たちに水辺活動の講習会を行いました。ライフセービングプログラムを取り入れ、自らの命を守る知識やスキルを身に付けさせようと学校と地域が一体となって行っています。

子供たちにとって初めてのサーフィン体験でしたが、最初は不安そうな表情を浮かべる子が多かったものの、すぐに波に乗り、どんどん上達していきました。天津の二日間海岸の波がサーフィンに適していることも学びました。



サーフィンの様子
短時間でここまで上達！！

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第12号 放課後子供教室版

2018年8月27日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



企業との連携、始めてみませんか



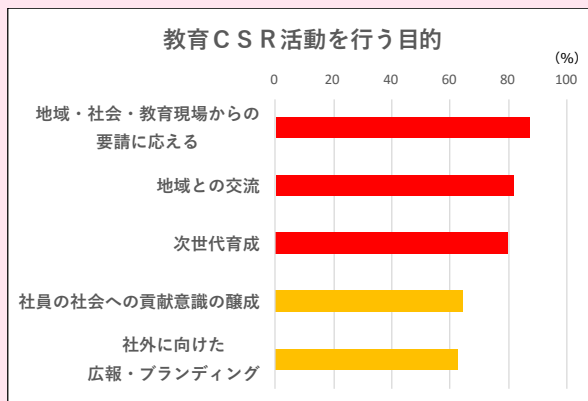
「子どもたちの放課後を豊かにしたい！」 そんな熱い思いで活動しているコーディネーターやボランティアの方たちにとって、**活動に参画する人が増え、活動プログラムが充実すること**は、とてもうれしいことですよね。

国の調査結果^{*1}をみると、企業の**教育CSR**^{*2}に対する姿勢がみえてきます。みなさんの地域の企業も**力強い応援団**になってくれるかもしれません！

*1 多様なパートナーシップによるイノベティブな生涯学習環境の基盤形成に関する研究 報告書Ⅲ—企業調査— (平成28年 国立教育政策研究所)
*2 CSRは、企業の社会的責任。教育CSRは、企業が社外に向けて教育に参加する活動。

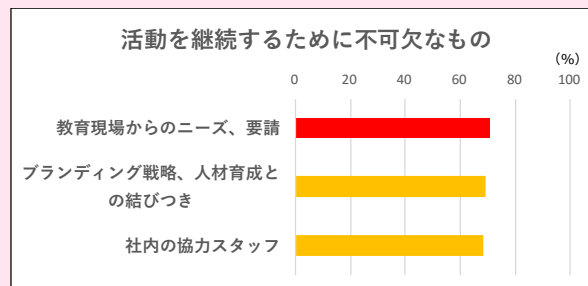
企業のもつ技術やノウハウは貴重な教育的資源！

企業調査からわかること



教育CSR活動を行う目的として最も多くの企業が挙げているのが**地域・社会・教育現場からの要請に応える**というものです。

子どもたちの放課後を豊かにしたいという皆さんの熱意と、地域とともにありたいと願う企業の思いを、**放課後子供教室の場で結ぶ**ことができそうです。



教育CSR活動を継続するために不可欠なものとして最も多くの企業が挙げているのが**教育現場からのニーズ、要請**です。

まずは**企業にしてほしいことを率直に相談**してみましょう。そして連携が実現したら、次の取組を探るとともに、活動の様子を地域に情報発信したり、子どもたちや保護者の声を企業にフィードバックしたりすることで、**ますます放課後子供教室に関心をもってもらえる**といいですね。

放課後子供教室 × 企業を進めると

キャリア教育にも

企業の活動や働く大人に多く**ふれる**ことは、子どもたちの**勤労観・職業観**を育みます。サービスの提供を受けるだけでなく、企業の方と子どもたちの**交流**の場をもつことで、学びはいつそう深まります。

地域への愛着・誇りにも

「わたしたちの町には、わたしたちの放課後を応援してくれる、こんな**企業がある！**」という経験は、子どもたちの**地域への愛着や誇り**を育み、地域人材の育成にもつながります。



教育CSRに積極的な企業を探すなら

ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度

千葉県教育委員会は、教育CSRに取り組む企業を、ウェブサイトを通じて広く県民の皆様にお知らせしています。

平成30年6月現在、**480**の企業・事業所に御協力いただいています。

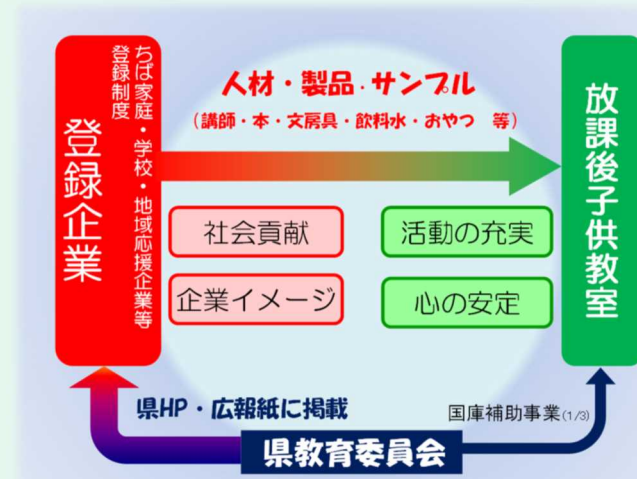
出前授業や**職場体験**に取り組む企業も多数登録。気になる企業があれば連絡してみてください！

詳しくは で



連携のノウハウを学ぶなら

企業と連携した子供応援事業



貴重な教育資源（技術やノウハウ）をもつ企業の力を、放課後子供教室の活動の充実に役立てられないか——

千葉県教育委員会は、**ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度**に登録する企業と**放課後子供教室**の連携の在り方を構築するため、平成28年度から3年間、県内各地域で**モデル教室**を設置・運営しています。

野田市・成田市・栄町（他2地区でも

準備中）のモデル教室の運営をとおして蓄積した、**連携をスタートするための手続き、連携の成果、留意点などのノウハウ**を、県内の関係者の皆様にお知らせする準備を進めています。



モデル教室で得た**成果やノウハウ、メリットや留意点**を詳しくお伝えします

企業と連携した子供応援事業 事業発表会

日時：平成31年**2月8日**（金）午後2時20分～4時

会場：千葉県総合教育センター



千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第11号 学校支援地域本部版

2018. 3. 16 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



「地域学校協働活動」では、「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）」や「地域連携担当教職員」が、学校と地域をつなぐ役割を担っています。今後は、国が示している「学びによるまちづくり」「地域人材育成・郷土学習」「地域行事・ボランティア活動への参加」などの多様な活動を推進するに当たり、学校と地域をつなぐ役割を担うコーディネート機能を充実させていくことが大切となります。そこで、本号では、学校側のパイプ役となる「地域連携担当教職員」の役割や連携方法について紹介します。

1 地域連携担当教職員とは



学校と地域をつなぐキーパーソン

役割

学校で

- ・学校内のニーズの把握と調整、地域からの情報を教職員に伝達する
- ・研修会や広報の機会をつくり、教職員の共通理解を図る

地域に向けて

- ・家庭や地域へ学校の情報を積極的に発信する
- ・コーディネーターと連絡・調整し、連携を深める



教頭先生と連携協力しながら、役割を分担して、学校教育方針のもと、効果的、効率的な体制にすることが大切です。

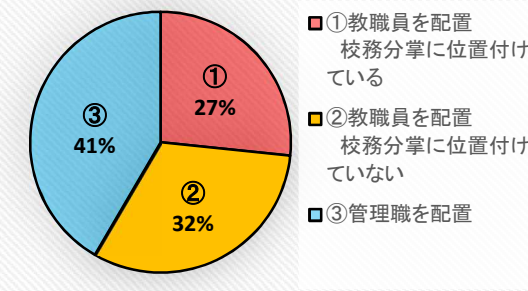
*学校の実情により、教頭先生が兼務する場合があります。

参考：地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン（文部科学省）
地域学校協働活動推進のための地域コーディネーターと地域連携担当教職員育成研修ハンドブック（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）

千葉県の学校支援地域本部設置市町村における地域連携担当教職員の配置状況

平成29年度16市町143本部（政令市・中核市除く）

約60%が管理職以外の教職員を配置



平成29年度「学校・家庭・地域連携協力推進事業」事業計画より

2 学校と地域をつなぐ工夫ある取組



支援ニーズの把握・調整

☆教職員から支援ニーズの聞き取り

- 連絡ポストの活用（市川市）
- アンケートの実施（野田市、我孫子市、松戸市）
- 学年会・分掌会の活用（鎌ケ谷市）
学年主任や分掌主任が話題提供



連絡ポスト（市川市）

☆コーディネーターや地域住民との情報交換

- 地域ルームの活用（市川市、野田市、我孫子市、八街市）
昇降口や職員室の前などが効果的



地域ルーム（野田市）

*学校によっては、地域連携担当教職員が担任から直接ニーズの聞き取りや授業で役立つ支援の情報を提供しています。

情報提供・活動の周知

☆支援内容やボランティアの紹介

- 掲示板の活用（市川市、我孫子市、野田市）
- 全校集会の活用（我孫子市）
- 学校だより、ホームページの活用（市川市、我孫子市、鎌ケ谷市、栄町、四街道市）

☆地域連携について情報共有・共通理解

- 推進会議の開催（市川市、野田市、八街市）
定期的に教職員とコーディネーターが話をする機会を作ることが大切



教職員の声

- ・子供たちが安心して登下校できるように、見守りや通学路の安全確認をしていただき助かります。（栄町 小学校）
- ・理科の実験準備、プリントの丸つけなどを支援していただき、子供と向き合う時間が増えました。（我孫子市 小学校）
- ・体験学習や出前授業など、子供たちにとって多様な体験の場が増えました。（野田市 中学校）

地域の特色・魅力ある活動の紹介



今回は、地域の特色・魅力ある活動として、八街市、鎌ケ谷市、栄町の学校支援地域本部の取組を紹介します。

～地域ぐるみで学校をサポート～

交進みらい塾〔交進小学校支援地域本部〕（八街市）

「交進みらい塾（交進小学校支援地域本部）」では、算数や生活科の学習支援、放課後九九教室、夏休み学校、図書館や花壇の環境整備、学校行事の支援などの活動を行っています。

夏休み学校では、小学4～6年生を対象にして、夏季休業の前半に算数や宿題などの学習をしています。学習中は、毎回10名以上の地域ボランティアが参加して、個々の進度に応じて、丸つけをしたり、分からないところを教えたりしながら子供たちの学習をサポートしています。



プリントの丸つけの様子
どちらも真剣な表情！！

～ボランティアと共に伝統の味～

中部小学校支援地域本部（鎌ケ谷市）



ボランティアの実演の様子
みんな真剣に見つめ、できあがるたびに歓声があがります。

「中部小学校支援地域本部」では、家庭科の実習補助、放課後算数教室の学習支援、学校の環境整備、登下校の見守りなどの活動を行っています。

6年生の家庭科では、千葉県の伝統的な郷土料理「まつり寿司」を作っています。地域ボランティアの指導のもと、お世話になった先生方へ感謝の気持ちを込めて作っています。

まつり寿司づくりは、学校と地域をつなぐ卒業前の伝統行事となっています。

～イベントごとに深まる地域との絆～

安食小学校ふれあい推進委員会（栄町）

「安食小学校ふれあい推進委員会」では、登校の見守り、環境美化、昔遊び・昆虫採集などの生活科の授業補助、野外活動などを行っています。

野外活動では夏休みにキャンプを行っており、地域ボランティアがバランスの調整が難しい三角テントの組み立て指導に力を入れています。夜には、学校の校舎を使って肝試しを行い、本格的なお化けに震えながら班ごとに手をつないでゴールする姿が毎年見られます。

このような活動を通じて、子供同士の友情や地域の方々との交流がイベントごとに深まっています。



三角テントの組み立て指導の様子
みんな興味津々で見学中！！